

使っている花 ■ シャクヤク(エッジドサーモン)、アスター(ボブサーモン)、スプレーバラ(オリエンタルエクレール)



6月
June



シャクヤク

花言葉 恥じらい／謙遜

「立てば芍薬、座れば牡丹…」
人々をとりこにする華麗なる美貌

プロが伝授!花を長く楽しむアドバイス

- 購入の際は、つぼみがほころんだ花色が見えるものを選びましょう。
- 葉が多いと水が下がりやすいので、飾る際には適度に取り除きます。
- つぼみの表面に蜜がついている場合は、湿らせた柔らかい布巾で優しく拭きとりましょう。
- 切り花栄養剤を使用するとつぼみが開花しやすくなり、咲いてからも長く楽しめます。

お家で簡単! 3ステップアレンジ

- ① 器に水を入れ、切り花栄養剤を適量加えます。それぞれの花材の水に浸かる部分の下葉を取り除きます。
- ② シャクヤクを器の高さよりやや長めにカットし、器の縁を利用して花が手前にあふれるようにあしらいます。
- ③ シャクヤクの背後や左右を補完するように、アスターとスプレーバラを配します。花顔がすべて同じ高さで並ばないよう、やや凹凸をつけることでアレンジが立体的になり、いっそう素敵です。

麗しのオリエンタルビューティー

英名はPeony(ピオニー)。東洋の気品漂う圧倒的な美しさと甘やかな香りで、初夏を待ち遠しくさせる花。国内では雪深い新潟県や長野県での生産が盛んで、花が出荷できるまでに4~5年もの栽培期間を要します。よく似た花でもシャクヤクは“草”でボタンは“木”ですが、最近では双方を交配した透明感あふれるハイブリッド新品種も登場しています。

